

令和5年度 市民と議会の意見交換会における要望・提言等一覧

分類	地区	内容	議会の回答内容	市の回答内容・議会の対応内容 空欄の箇所は議会から市へ回答を求めています
議会全般に関すること	旧八女地区	議会運営で市が登壇席でいちいち答弁されているが、自席でできないのか検討されたい。	議会全体で協議すべき問題ですので、ご意見を持ち帰って伝えます。	
議会全般	矢部地区	市民と議会の意見交換会は今の時間帯、午後7時からでは参加するにも交通手段がない。意見交換会を昼間行い、デマンドタクシーを無料にすれば参加者が増えるかもしれない。あるいは、もっと小規模で開くことも検討したらどうか。	時間帯の問題は検討します。分野別意見交換会も行っていますので申し込んでいただけたらと思います。	
議会全般	星野地区	議会の傍聴について、インターネット中継を見続けたい工夫と今後、全員協議会や常任委員会も公開してほしい。	アクセス数が少ない現状も鑑み、ユーチューブ配信なども検討していきたいと考えています。	
議会全般	上陽地区	明日八女市長になるとしたらどんなことに手を付けるか。議員一人ひとりの意見を聞きたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・定住対策のため、企業誘致や雇用の確保。 ・企業誘致と雇用の確保。 ・地域で生活できる生活環境をつくる。人を留めるために有害鳥獣対策や作物を導入するなど生活ができる地域づくりをする。 ・基幹産業である農業の底上げをすると同時に商工業の発展。 ・子育て支援に力を入れる。公立病院が建て替わるのは良いが東部地区の医療体制もしっかり確保。 ・不必要な政策をカットし、移住定住や子育て支援を拡充。 	
行政一般	立花地区	山間部の買い物難民の解消など、細かいところにも気を配り、人に優しい行政の姿を見せてほしい。	特に問題なのが買い物です。現在の交通対策では不十分なので市に進言します。本庁に伺いを立てる支所のあり方では、地域の声が伝わりません。支所にもある程度の権限を持たせる必要があるのではないのでしょうか。どこに住んでいても、だれ一人取り残さない取り組みが必要です。支所の職員が本当に少ないと思っています。市営住宅にエレベーターがあるのはゼロで、引き続き訴えていきます。地域を活性化させるため地消地産を進める必要があると思っています。	
生活安全・防災	上陽地区	空き家問題について、ほったらかされて草が生い茂っていたりするので、条例などを作ったり市としても厳しく指導してほしい。	市としてもお願いしていますが、罰則まではできませんので強制できません。しかしながら市に何とかできないかお伝えしたいと思います。	
生活安全・防災	立花地区	八女市には防災士が200人以上いるが、今後これをどう生かしていくのか。	コロナの影響で活動ができていません。ペーパードライバーの方も多く、研修を重ねながら実働部隊を目指します。また、消防団と連携して役割分担ができるよう取り組みます。	
財産(施設)管理	上陽地区	老朽化している元下横山小学校の体育館が取り壊されるといふ噂を聞いたが真偽は。	議会には上がっていませんが確認したいと思います。	(市の回答) 元下横山小学校の体育館を取り壊す予定は現時点ではありません。
財産(施設)管理	立花地区	八女市担い手研修センター、働く女性の家は、取り壊されるだろうと思っているが、跡地はどう活用されるのか。	商工会館が併設されていて残存期間が後10年残っており、現時点での解体は考えてないと市から聞いています。	
財産(施設)管理	立花地区	八女市担い手研修センター、働く女性の家を取り壊される場合、備品等はどうか。廃棄されるのであれば、椅子など必要としている行政区に配給していただけないか。	他の地域では入札にかけ処理をしているところもあります。希望に添うよう市に伝えたいと思います。	

令和5年度 市民と議会の意見交換会における要望・提言等一覧

分類	地区	内容	議会の回答内容	市の回答内容・議会の対応内容 空欄の箇所は議会から市へ回答を求めています
財産(施設)管理	立花地区	北山保育所跡地はどうなっているのか、適当な時期に売却したらと思うが。	跡地は駐車場として利用しています。建物は耐震を満たしていないので倉庫として利用しています。	
児童及び母子(父子)福祉	上陽地区	昨年、小学校新入学生にランドセル配布のお願いをしたがどうなったのか。	ランドセル配布の代わりに入学祝い金などがありますので、それでご理解いただきたいと思ひます。	
保健衛生	旧八女地区	公立八女総合病院の建て替えについて、八女市民、広川町民に対し、ネットアンケート等で是非を問うことはしないのか。	八女市議会の全員協議会で公立八女総合病院から説明会はすると報告されています。また、ネットアンケートは検討させていただくとのことです。	
保健衛生	旧八女地区	公立八女総合病院の計画について、いろんな問題があると感じる。財政問題、建設費が55万円～60万円という幅を持った表記がなされている。医者数は増えるようになっているが、今でさえ足りないのに本当に確保できるのか。将来の財政計画について、医師の件数や経費関係が横ばいというのは物価上昇も考えられていない。立地計画は6か所の候補地があるが下水道の条件などが設定され、最初から蒲原地区に造るのが前提になっているかのような条件設定である。みどりの杜病院付近に造るという前提でこの計画は作られているのではないか。土地購入価格が農地の実売価格からすると相当な開きがある。これらの件について議員から質問をされなかったのか。	建設費については、資材高騰などもあり計画時点では幅をもって試算しているとの説明でした。場所の選定はまだ決定ではないと理解していますが、有力候補地は西の方というのが市民の一般的な受け止め方だと思います。公立八女総合病院とみどりの杜病院の2病院が統合再編し合計330床の計画規模で最終的には医師を60人以上確保したいという説明でした。医師不足が赤字の要因にもなっており、医師確保ができ病床が埋まれば経営的に安定します。医師はインターン制度が改正され医療機器が最新のところに、患者も最新の病院に流れていくため公立八女総合病院も対抗力をつけたい考えがあるようです。財政計画は公立八女総合病院でもしっかり計画していると思ひますが、矛盾がある部分については突き詰めていきたいです。土地購入単価は農地の実売価格はそうですが、宅地もあるので余裕を持って積算されていると認識しています。実際に場所が決まった段階で精査されなければなりません。質問の件については全員協議会でそれらの点に関して細部の質問は出ていないと思ひます。今後検証し公立病院議会や全員協議会で明らかにしていくことが必要だと思ひています。	
保健衛生	旧八女地区	公立八女総合病院は赤字続きでありながら、患者目線の評判も良くない中での建て替え新築移転。コロナで大変な時期に私たちの血税を使ってこういうことをするのはどうなのか。西側に移転するというのは噂で聞いている。山間地域の議員はこのことについてどう思っているのか、それぞれの東側在住議員の意見を聞きたい。	<ul style="list-style-type: none"> 公立八女総合病院で助かった人もたくさんおられます。確かに公立病院が赤字だというのは問題ですがそれでも病院は必要です。西側に移転すれば遠くなるので矢部地域の方は苦悶されるのではないかと心配をしています。最終的には公立病院議会の判断を仰ぎたいと思ひています。 地域医療のあり方検討委員会では八女市に公的病院は必要であるとの結論が出ました。個人で地元アンケートをとった結果90%以上の方が公立八女総合病院は残してほしいということで、公的病院が八女には必要だと考えています。場所が遠くなれば東部の人にとっては交通手段の確保も非常に困ります。 赤字でありながら建て替えるのは賛成できません。地元では西側に行くのは反対されており、東部に建ててほしいという声は届けています。 地元からは公立八女総合病院は残し、できれば東部にできないかという意見もあります。そういった意見を伝えるとともに、公立病院議会の中でもしっかり協議していただきたいです。費用に関しても高いという思ひもありますので、計画を見直していくことも必要だと思ひています。 	

令和5年度 市民と議会の意見交換会における要望・提言等一覧

分類	地区	内容	議会の回答内容	市の回答内容・議会の対応内容 空欄の箇所は議会から市へ回答を求めています
保健衛生	旧八女地区	11月までに申請しないと国の補助金が4割出ないので内密に事が動いて申請されているのではないかと噂があるが真偽は。	病院機能再整備計画を11月中には出したいということでしたが、まだ提出したという話は聞いていません。	
保健衛生	旧八女地区	何百億円もかけて病院が建設された場合に、議員として責任が取れるのか。	議会の監視する責務の中で、市民の判断を仰ぎながら、その時の政治信念で結論を出していくことであると思っています。	
保健衛生	旧八女地区	公立病院に200億円、国道3号バイパスに600億円と大きなお金が動いている中で市民にちゃんとした説明がなされていないのは市民を無視した問題である。市民の多くは消化器内科の病気で苦しんでいるが、公立八女総合病院に医師がいない。小児科も少なくなっている。医師が非常勤で予約制となっている。 病院の建て替えをなぜ西側にもっていくのか。それはインターの近くでないと医師が来ないからということ聞いた。医師のために西にもっていくのは非常に腹ただしく残念である。命が大事だということであれば八女市民の命を守る検討をしていただきたい。赤字の病院の中が空っぽで建物だけよくても人は集まらない。 国道3号バイパスは市民への説明をおろそかにしながら話が進んでいたことは非常に残念である。もっと議員が市民と膝をつき合わせた仕事をしてほしい。ここでの質問に対する報告をネットだけではなく書面でやってほしい。	皆さんから出た意見等は、議会内部でも検討し、市の意見も聞いた上で重要な案件を網羅した内容をネットに掲載しています。書面でも報告していますが、皆さんに届いていないということはどうしたらいいのか方法は考えさせていただきたいと思います。	
保健衛生	旧八女地区	公立八女総合病院を和白病院に委託する選択肢はなかったのか。	和白病院との具体的な話はあっていません。過去に数名の議員が直接話を聞きに行ったということは聞いています。	
保健衛生	黒木地区	二百数十億円をかけ、蒲原地区内に公立八女総合病院の建て替え計画があると聞かすが、市民の大半がそのことを知らないようである。また、現在、受診科によっては医師不在のため対応不能で、別病院での受診を余儀なくされている。その点について説明を求む。	公立八女総合病院の再整備計画があることは事実です。医師不足により久留米大学病院から医師の派遣を受けていますが、筑后市立病院にも同様に派遣されていますので、派遣元にも余力はありません。今のままでは、今後、中山間地を抱える八女市の地域医療を担えません。このほどようやく議会への説明があったばかりで、移転先地区をはじめ、具体的なことは決定事項ではありません。	
保健衛生	星野地区	公立八女総合病院の方向性は、広川とのことなどいろんな情報があるが、どのようになるのか。	病院の建設を急ぎたいとの意向が病院側から出ています。広川町から一部事務組合を脱退する意向がありましたが、ようやく広川町と話し合いをされています。	
地域コミュニティ	上陽地区	合併したのに行政区は再編されていない。不必要な経費もあり区長手当など不平等ではないか。	ご指摘のとおり旧八女市と黒木は合併前後変わらない現状があります。議会でも声を出して追及しています。	

令和5年度 市民と議会の意見交換会における要望・提言等一覧

分類	地区	内容	議会の回答内容	市の回答内容・議会の対応内容 空欄の箇所は議会から市へ回答を求めています
地域コミュニティ	上陽地区	消防や隣組など過度な地域コミュニティの付き合いが重荷になっているという移住者たちの声がある。政策や補助金の論争だけが移住者のニーズではないということを知ってほしい。とある自治体では移住定住担当課長が移住者であることにより移住者の気持ちがわかるという事例もある。外国人の年金問題、外国人は自由に年金をやめられるため、年金をもらえず、生活保護をもらっている問題を勉強して追及してほしい。	回答を求められませんでしたのでご意見として賜りました。	
移住・定住・人口	上陽地区	定住対策に関してどのような政策があり、どのような効果が出ているのか。	コストはかかりますが合併前の旧市町村で行っていた事業や行事を尊重することがそれぞれの魅力を維持していく上で大切だと考えています。政策に関しては転入世帯、若年世帯の支援にさまざまな助成があります。中山間地の人口が旧八女側へ流れている東西格差の問題も推測できますので、引き続き政策の中身についてしっかりと検証を続けたいと思っています。	
地域公共交通	矢部地区	病院に行くのに1日がかかり、以前は患者輸送車があったが今はない。結果的に山の上には住めない。デマンドタクシーはエリアを越えて運行してほしい。	デマンドタクシーは以前より各地でエリアを越えて運行してほしいとの要望があります。個人的にも見直しが必要と思っています。議会でも度々問題にしており、市にも伝えたいと思います。	
公共土木(道路・河川)	上陽地区	上陽から黒木に向かう道路(県道田主丸黒木線)が狭く、大型車がよく通るため危ない箇所がある。その道路の上に公園があるが、地盤沈下により全体的に道路側に下がってきている。公園が崩落すれば被害を受けるとされる家が26軒程あり、そこに住む方は70歳以上の方が中心で、若い方が少なく早急な対応が必要と考えている。道路の拡幅工事と壁面について要望書を出しているのので後押ししてほしい。	現場を確認し対応します。	(議会对応) 支所と現場を確認しました。県道ですので県へ要望をしなければなりません。
公共土木(道路・河川)	旧八女地区	国道442号黒木バイパスは八女舗道のところに出るのか教えてほしい。	現場に丁張が打ってあるのでそこが出口になると理解しています。	
公共土木(道路・河川)	旧八女地区	国道3号八女広川バイパスの件で国土交通大臣が参議院決算委員会でルートを地元を示し、地元からも承諾を得ていると明言されている。議会はご存じなのか。また、東部振興のためと言われているがどう反映するのか教えていただきたい。	決算委員会での国土交通大臣の地元承諾の話は議会では承知していません。効果対コスト(B/C)が1.3程度ということでそれなりのメリットはあるのではないかと考えています。	
公共土木(道路・河川)	旧八女地区	久木原などは水害があったら陸の孤島になる。東部振興のためには、その辺に道路を造ったほうがよいのでは。	道路は地域振興には欠かせないものと認識しています。ご要望等があればしっかり伝えていきたいと思っています。	
公共土木(道路・河川)	立花地区	山下地区の排水施設はまだ作業をしているが、本当に機能するのか疑問だ。進捗状況は。	県の事業で行っています。今後、上流側への延長工事が予定されているとのことです。	
公共土木(道路・河川)	黒木地区	国道442号黒木バイパスの進捗状況はどうなっているのか。	代替地の話は済んでいます。残土処理についても周辺地域の低地に埋土処理しています。	
公共土木(道路・河川)	黒木地区	国道442号黒木バイパスができれば人口増につながるのではないか。	その通りです。また、田主丸黒木線の上陽までの道路改修工事が進めば、広川町や旧八女地区の各工業団地への通勤者の増加が見込めます。	

令和5年度 市民と議会の意見交換会における要望・提言等一覧

分類	地区	内容	議会の回答内容	市の回答内容・議会の対応内容 空欄の箇所は議会から市へ回答を求めています
住宅	星野地区	市営住宅の浄化槽の維持管理費を入居者で負担するのは、入居者は減少傾向にあり高齢化も進む中、負担が大きい。	昨年度、同様の質問が出た折、市にも伝えていますが、条例改正までには至っていません。浄化槽の清掃費は入居者が負担していますが、保守点検費、水質検査費、法定点検費は市が負担しており、維持管理費全体の3分の2を市が負担しています。星野地区に限らない問題です。	
住宅	星野地区	市営住宅の入居者増加に向けて特例措置を設けるほか、入居条件の緩和など対策を講じてほしい。条例改正も検討し、適切な管理をする努力義務を果たしてもらいたい。	平等性を保つ観点から星野地区単独での特例措置は設けられませんが、今後も引き続き議会としても市への働きかけを行っていきます。	
農業	上陽地区	せんだんや早生桐の植栽をされている方がおられると聞いている。また花木に関して水源の森基金から2年間を限度として大きな苗木の無償あっせんがあり中山間地域に植栽され耕作放棄地の解消の刺激になっている。ある程度大きな苗木であれば管理次第ですぐに出荷できるので、市でも起爆剤として苗木に対する助成を検討してほしい。	早生桐に補助金を出せないかと一般質問でも訴えています。出荷先が明確になっていない問題もあり、なかなか実現に至っていません。耕作放棄地に関しては人・農地プランで、何年後まで農業が続けられるかをマップに落とし込み、何年後には農業をされないという農地の見える化をされています。優良農地を次世代につなぐことが重要だと思います。	
農業	立花地区	八女市は農業が主な産業。JA研修センターには全国からイチゴ、ナスなど40名ぐらい研修生がいる。7割が非農家、農業をやりたい人にとって資金や土地問題、販売先の確保などハードルが高いので、ハードルを下げる必要がある。八女市として受け入れ対策を具体的ににつくってほしい。市職員は既存のこと以外をなかなかやろうとしないので、議会として言ってほしい。空き家の活用が必要では。古いハウスは崩すのに手がかかるため無料でいいから貰ってほしいという人が沢山いる。このハウスを有効活用して活性化を図ってほしいと思うので農協や市が中に入り、外に打って出るような対策を取ってもらいたい。	農業振興課は少しずつではありますが取り組んでいます。施設の野菜はマニュアル通りやればある程度はできます。温州ミカン栽培は現在八女市は適地です。農地バンク等については農業振興課に伝えます。	
農業	立花地区	4、5年前にナシの赤ホシ病が出てきていると聞いたが対策は。	ナシの赤ホシ病は、他の病気と違います。ビヤクシン類の木を伐採する必要があります。これまで市民や事業者の協力による撲滅への取り組みが強化され、伐採が進み、赤ホシ病が減少している状況です。	
農業	黒木地区	八女市において農業への新規就農の支援は国や市からもあるが、親元就農やUターン就農の場合、支援がないことについて問う。	親元就農の場合、後継者との経営分離が必要ですが、その手続きの複雑さが問題であり現場の実態に合っていない。改善を求めてきましたが、国の制度であり声を上げなければなりません。議会の総意として反映することが必要だと思います。	
農業	星野地区	営農の厳しさから荒廃農地が増加している。資材や肥料の高騰分への対策を令和6年度以降も引き続きお願いしたい。	令和6年度以降、国や県からは補助がないようです。八女市としては社会情勢を見ながら関係各所と情報共有をして対応していきます。	
企業誘致・雇用	立花地区	八女市の半導体工場誘致への取り組み状況、担当部署はどこか。八女インターに近いバビルゾン通り南の農業用地など検討したらどうか。三菱ケミカルグループは福岡に工場を検討しているようだが。	担当部署は企業誘致課です。市はそのような話があるのは知っているようです。積極的に誘致活動をしています。	

令和5年度 市民と議会の意見交換会における要望・提言等一覧

分類	地区	内容	議会の回答内容	市の回答内容・議会の対応内容 空欄の箇所は議会から市へ回答を求めています
災害復旧	上陽地区	今年の災害で上陽が甚大な被害を受けているが議員はどのように確認されたか。特に広川ダムまでの河川沿いに被害が激しいところもあり復旧を急いでほしい。	建設経済常任委員会で現場確認をしました。個人で見回りをした議員もいます。所有者の問題や金銭的な問題がありますが市に要望は出しています。所管の建設経済常任委員会も対応をします。	
廃棄物及び環境保全	上陽地区	産廃施設の水質の管理をしっかりしてほしいと議員として言ってほしい。	環境課にお伝えします。	
市政の総合企画や調整	立花地区	統合されて13年になるが、固定資産税が高くなった。支所の市職員が少なくなり、役所が遠い存在になった気がする。これまでどんなまちづくりをしようとしていたのか、今後どういったことをやろうとしているのか、どのような八女市をめざそうとしているのか。	人口がこの10年間に約8,000人減少し地域間格差が広がっています。子育て支援に力を入れ、八女市の総人口で社会増減(住民の転入数と転出数人口)がプラスになるよう力を入れるべきです。市では都市計画マスタープラン、立地適正化計画を策定し、どのようなまちづくりをするのか検討をしています。	
市政の総合企画や調整	星野地区	過疎債は下水処理や庁舎建設に活用されていると思うが、過疎債の詳細を問う。	市民全体に恩恵のあるものに活用されていると思いますが、この場で金額等、詳細についての返答はできませんので、後日、明らかにしていきます。	(市の回答) 過疎対策事業債の対象事業は、本市の過疎地域持続的発展計画に基づき実施する事業とされており、市内全域が対象地域となっております。 ご質問の下水道整備事業については、過疎対策事業債を活用しておりますが、公営企業会計事業であることから対象事業費の1/2以下に充当しているところです。また、市庁舎建設事業は、過疎対策事業債の対象外の事業となりますので、他の地方債を活用しております。 なお、過疎対策事業債を活用した本市の主な事業としましては、市道・林道の整備や、学校・観光施設の改修等、市全域を対象に、様々な事業の財源として活用しており、借入金の償還額に対して、7割が交付税として国から補填される仕組みとなっております。
市政の総合企画や調整	星野地区	過疎債について、今後は過疎地域への活用をお願いします。	過疎債が借金である以上、活用する際は優先順位が大事です。	
学校教育	上陽地区	給食費無償化を八女が率先して実行してほしい。	総務文教常任委員会から市に要望書を出しており、一般質問で追及する議員もいます。一定の補助を出したりされていますが、全部無料にするには2億数千万円かかるということで、永年継続するという点に関しては慎重な考えです。	
学校教育	上陽地区	八女市全部で制服を統一すれば効率よくなるのではないかと。	中学校の制服に関しては八女市全校統一されています。	
学校教育	旧八女地区	見崎中学校区の小中学校が一緒になるが、スクールバスは3km以上離れていないと出ないと聞いている。上級生がいない地域で保育園を卒園したばかりの小学1年生などが2km以上歩いて行かねばならない。低学年だけだよいので、希望者はスクールバスに乗れるようにできないかと。	令和7年4月予定で、みさき学園という名称で小中学校が一緒になります。スクールバス運行は本来4kmと設定されていますが、遠くてバスもない所は、開校まであと一年半ほどあるので市に言ういただければ検討されるそうです。	

令和5年度 市民と議会の意見交換会における要望・提言等一覧

分類	地区	内容	議会の回答内容	市の回答内容・議会の対応内容 空欄の箇所は議会から市へ回答を求めています
学校教育	旧八女地区	南中学校の娘のクラスが41人の2クラスでギチギチの状態である。精神衛生上や感染の問題もあるので、2クラスから3クラスにしてもらえないか。議員にも是非見に行ってもらいたい。	総務文教常任委員会では学校訪問調査を行っていますので、委員会で協議し調査したいと思います。	
学校教育	矢部地区	少子化問題は深刻で、学校がないと地域が衰退する。子どもが少なくなり矢部の学校が廃止になって黒木まで通学するのは遠いので、地域の特色を生かし、いつまでも清流学園を残してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進むなかで、清流学園の課題など聞かせてください。 ・人口減少問題は大きな問題です。八女市は、この10年間で8,000人ぐらゐ減少しています。その反面、世帯数は増えています。 ・買い物にも行けない弱者が増えているので交通対策が必要です。 ・免許証返納でタクシー券の補助がありますが6割が使っていない現状があります。困っている事があれば意見を上げていただきたいです。 	(議会対応) 12月定例会の委員会で質問をしました。 学校の統廃合の方針について、旧町村に1小学校及び1中学校、もしくは1義務教育学校を残すというのが基本方針であるとのことでした。
学校教育	立花地区	筑南小学校では、これまで地域が協力してほとんどの子どもが100メートルを泳げるようになっていた。しかし、プールの老朽化で水泳の授業を業者に委託。学習時間は2時間の4回、実質1時間程度の学習を年4回。しかし泳げる子はほとんどいなかった。年間4回の授業では、だれでも泳げるようになるのはまず無理で、平泳ぎができる子どもはゼロ。中学校のプールを使わせてもらえないかと申し込んだが断られた。なんとか子ども達の泳力を落とさないでほしい。	後日回答をします。	(市の回答) 八女市教育委員会では、令和5年度より、市内の4小学校で水泳授業を民間スイミングスクールで試験的に実施しています。 民間スイミングスクールにおける水泳授業では、児童を泳力毎に4つのグループに分けて、それぞれ専門性の高いインストラクターを配置し教員と共に指導にあたります。 従って、児童の泳力が落ちるとは考えていません。 水泳授業終了後に実施したアンケートにおいても、「水泳授業が楽しかった」、「長い距離を泳げるようになった」、「次年度以降も民間スイミングスクールで授業を受けたい」などの意見が大多数を占めています。 また、学校施設(プール)の一般利用(貸し出し)に関しては、施設の保守点検上、あるいは安全管理上の観点から許可していません。
学校教育	星野地区	小中学校の児童数が減少している。今後、義務教育学校へのスムーズな移行をお願いしたい。	過去の例では、移行に伴う地域の学校づくり推進協議会での検討に時間を要しているのが実状です。反対意見がなければスムーズに移行ができます。	
芸術文化	旧八女地区	立花町の田崎廣助美術館をNPOに委託すれば経費削減できるのではないか。	田崎廣助美術館の作品は軽井沢にある田崎美術館から借用しており、借用費用に年間540万円その他、ランニングコストがかかります。学芸員の人件費を含め年間1,500万円ほどがかかりますが、NPOで学芸員を探すことが難しく、NPOへの委託ができない状況です。	
芸術文化	旧八女地区	民俗資料館に酒井田柿右衛門の作品があるが、盗難防止や換気等適切に保存してほしい。	民俗資料館の作品は佐賀県有田町の酒井田柿右衛門窯からの借用で、展示ケースは鍵付きであることや開館時の職員常駐など借用の決まりごとがあります。作品は専用のピアノ線で転倒防止をしています。パネルや冊子を使った案内による活用がされており適切な管理はできている認識です。	

令和5年度 市民と議会の意見交換会における要望・提言等一覧

分類	地区	内容	議会の回答内容	市の回答内容・議会の対応内容 空欄の箇所は議会から市へ回答を求めています
芸術文化	黒木地区	伝統的建造物群保存地区制度により、該当地区内で後継者のいない空き家対策と老朽化し建て替える際の諸問題の解決方法について問う。	関係各所にて確認済みですが、事情がある場合には、保存が必要な特定物件から解除をすることができます。国からの補助で改修などしたりしていれば問題があるかもしれません。保存推進するため制度に従うのが本当ですが、残すことが無理なところは無理だと思います。	